

11|10  
2020 [TUE]

19:00 開演 トップアンホール

Tuesday 10 November 2020, 19:00 TOPPAN HALL

全席指定 6,500円 / 学生 3,000円

TOPPAN HALL

2020/21 SEASON



シューマン 《12の詩》

知られざる名曲、

あたたかな光で照らし出す

円熟を極めるふたりの名手が

**Beethoven** ベートーヴェン

Adelaide Op.46

アダライーデ Op.46

'Wonne der Wehmut' aus "3 Gesänge von Goethe" Op.83-1

《ゲーテの詩による3つの歌》Op.83より 第1曲〈寂しさの喜び〉

'Neue Liebe, neues Leben' aus "6 Gesänge" Op.75-2

《6つの歌》Op.75より 第2曲〈新しき愛、新しき生命〉

Liederzyklus "An die ferne Geliebte" Op.98

連作歌曲《遙かなる恋人に寄す》Op.98

**Schubert** シューベルト

Aus "Schwanengesang" D957

《白鳥の歌》D957より

Das Fischermädchen/Am Meer/Die Stadt/Der Doppelgänger/Ihr Bild/Der Atlas

漁夫の娘/海辺で/都会/影法師/彼女の絵姿/アトラス

**Schumann** シューマン

"12 Gedichte" von Justinus Kerner Op.35

ユスティヌス・ケルナーの詩による《12の詩》Op.35

リート  
〈歌曲の森〉～詩と音楽 Gedichte und Musik～ 第25篇

クリストフ・プレガルディエン & ミヒャエル・ゲース

Christoph Prégardien <sup>tenor</sup>  
& Michael Gees <sup>piano</sup>

主催: トップアンホール 特別協賛: 竹中工務店

20  
TOPPAN HALL  
since 2000

# Christoph Prégardien <sup>tenor</sup> & Michael Gees <sup>piano</sup>

リート  
《歌曲の森》～詩と音楽 Gedichte und Musik～ 第25篇 クリストフ・プレガルディエン&ミハエル・ゲース

「詩」と「音楽」の高度な融合で生まれる歌曲芸術の再興を願い、2008/09シーズンに始動したツィクルス《<sup>リート</sup>歌曲の森》。トッパンホールの中核を成すシリーズに成長しただけでなく、ここ1～2年で急増している国内の歌曲公演の火付け役ともなっているのはうれしい限りです。なかんずく、その《<sup>リート</sup>歌曲の森》を牽引しているのは、プレガルディエン&ゲースの2人。コンビでの登場回数も7回を数え、まさに円熟の極致にある彼らが、さらなる高みを目指し続ける姿をお楽しみいただいています。

今回のプログラム前半には、メモリアルイヤーを意識して、〈アデライーデ〉、連作歌曲《遙かなる恋人に寄す》といった、ベートーヴェンの名歌曲集。ちなみにトッパンホールの主催で、今年ベートーヴェンと真っ向から向き合うのは、〈ランチタイムコンサート〉でのツィクルスと、このプレガルディエン&ゲースのコンサートのみ。歌曲という切り口からベートーヴェンの偉業を見つめなおしていただければと思います。

組み合わせるのは、シューベルトの《白鳥の歌》。こちらもベートーヴェン同様、いまさら説明するまでもない作品。「詩」と「音楽」を深く読み込みながらも、コンサートでは毎回、即興性豊かで得意即妙の自由自在にして多彩なアプローチを見せてくれるこの両者が、今回は、どのような風景を聴かせてくれるのか、いやがうえにも期待が高まります。

これほどのプログラムを前半に押し遣ってのプログラム後半は、シューマンの《ユスティヌス・ケルナーの詩による12の詩》Op.35。これは秘曲の部類に入るでしょうか。少々説明が必要かもしれません。《12の詩》Op.35は、シューマン「歌曲の年」、1840年に書かれた作品の一つ。J.ケルナーの詩に流れる、絶えず揺れ動く繊細かつ感傷的、時に意気軒昂な青春のときめきや心情が、シューマンによって見事に音化されています。こうした心象風景の表現はドイツ文学の得意とするところであり、かつロベルト・シューマンを長年にわたって魅了し、支配した世界でもありました。現在、このような<sup>リート</sup>歌曲を歌わせればプレガルディエンの右に出る者はなく、この微妙にして奥深い心の翳を音にさせればゲースの右に出る者はないといえましょう。

プレガルディエン&ゲースは、2019年のシューベルティアーデ（シュヴァルツェンベルク）でこの曲を取り上げ、フェスティバルの中でもひととき光彩を放って喝采を浴びていました。終演後、興奮冷めやらぬ思いでその素晴らしさを称えた私に、プレガルディエンは、「この曲は、まだトッパンホールで歌っていなかったか…。それなら次はぜひこの曲を、僕が世界一と確信するトッパンホールの聴衆に聴いてもらおう」と語り、今回のコンサートが実現の運びとなりました。ご期待ください。

プログラミング・ディレクター 西巻 正史

知られざる名曲、シューマン《12の詩》

円熟を極めるふたりの名手があたたかな光で照らし出す

## トッパンホールWEBチケット [www.toppanhall.com](http://www.toppanhall.com)

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

会員優待割引およびセト券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。  
\*学生券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。\*未就学児のご入場はお断りいたします。  
\*託児サービス【要予約・有料】:公演日1週間前までにイベント託児・マザーズ 0120-788-222  
【10:00～12:00, 13:00～17:00(土日祝休み)】へお申し込みください。

※本公演は新型コロナウイルス感染予防策として、席数を減じて開催いたします。  
※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。  
※開場は開演の30分前となります。

## 交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分  
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分  
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分  
都営バス [上69][飯64][大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分  
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515  
[www.toppanhall.com](http://www.toppanhall.com)



人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中大工道具館(兵庫県神戸市)  
設計施工:竹中工務店

株式会社竹中工務店 本社:〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13 Tel.06-6252-1201 / 東京本店:〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 Tel.03-6810-5000